

## 日清製粉グループ 第2四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

**第2四半期は売上高2,145億87百万円、経常利益118億92百万円。**

### [平成24年3月期第2四半期連結累計期間決算]

㈱日清製粉グループ本社（社長 大枝 宏之）の平成24年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、東日本大震災後の復旧・復興需要により日本経済には回復の兆しがみられたものの、デフレ環境の継続や消費自粛ムードの広がりにより個人消費は低迷しました。当社は主要食糧である小麦粉及び各種製品の安定供給に最大限の努力を払うとともに、製粉事業においてお客様との関係強化を図るなど販売促進に努めました。また、各事業において、引き続き購買・製造・物流など全般におけるコスト削減に取り組みました。

そのような中、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で18%引き上げられたことを受け、製品価格改定を実施いたしました。

この結果、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は製粉事業の出荷伸長や、輸入小麦の政府売渡価格引き上げによる製品価格改定等の影響もあり2,145億87百万円（前年同期比102.6%）と増収となりました。利益面では、製粉事業におけるふすま価格の低迷や拡販施策費の投入等により、営業利益は104億21百万円（前年同期比84.2%）、経常利益は118億92百万円（前年同期比86.9%）、四半期純利益は66億77百万円（前年同期比96.3%）となりました。

### [平成24年3月期通期連結業績予想]

わが国の経済は、電力不足問題の長期化懸念や、欧米経済の減速及び円高など多くの課題に直面しております。また、政府による増税の検討や景気の先行き不透明感から低価格・節約志向が継続し、引き続き個人消費の低迷が予想されるなど、当社グループを取り巻く状況は厳しいものと見込まれます。このような環境下におきましても、当社は国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、各事業において安全な製品を供給するという使命を果たしてまいります。また、国内においてはシェアアップに努めるとともに、コスト競争力の強化による収益確保を目指してまいります。更に、海外においては、当社グループの更なる成長を実現するため、海外事業展開のスピードアップを図ってまいります。

上記の状況及び第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当年度の連結業績見通しにつきましては、売上高は4,460億円（前年同期比105.1%）、営業利益は236億円（前年同期比93.2%）、経常利益は260億円（前年同期比93.4%）、当期純利益は140億円（前年同期比98.7%）と5月公表の予想を修正しております。

当社は、このような厳しい環境を乗り越え、長期的な発展を実現するため、平成24年度からスタートする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の策定に着手しました。

以上